2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月13日

上 場 会 社 名　　昭和鉄工株式会社　　上場取引所　　福
コ ー ド 番 号　　5953　　URL　https://www.showa.co.jp/
代　　表　　者　（役職名）　代表取締役社長　　（氏名）　日野宏昭
問合せ先責任者　（役職名）　取締役常務執行役員　（氏名）　尾島孝則　　(TEL) 092-933-6390
半期報告書提出予定日　　2026年11月13日　　配当支払開始予定日　　―
決算補足説明資料作成の有無　　：無
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	6,292	△0.5	458	38.7	604	29.1	571	85.1
2026年３月期中間期	6,321	△0.5	330	△17.2	468	4.2	308	13.4

（注）包括利益　2027年３月期中間期　1,556百万円（　32.9%）　2026年３月期中間期　1,171百万円（　－%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	693.81	―
2026年３月期中間期	374.80	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	23,778	13,627	57.3
2026年３月期	22,383	12,195	54.5

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　13,627百万円　　2026年３月期　12,195百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	―	0.00	―	150.00	150.00
2027年３月期	―	0.00			
2027年３月期(予想)			―	150.00	150.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,500	2.8	1,200	△10.1	1,420	△9.6	1,130	2.9	1,372.10

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更　　：　無

新規　　ー社（社名）　　、除外　　ー社（社名）

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	897,000株	2026年３月期	897,000株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	73,544株	2026年３月期	73,372株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	823,553株	2026年３月期中間期	823,716株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料Ｐ３「１.経営成績等の概況（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間連結貸借対照表 …… 4
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 6
中間連結損益計算書 …… 6
中間連結包括利益計算書 …… 7
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9

１．経営成績等の概況

（１）経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善等を背景に緩やかな回復の動きがみられました。一方で、中東情勢の緊迫化に伴う資源価格の高騰に加え、円安の進行や金利の上昇など、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような情勢の中で当社グループは、新中期経営計画「責任ある未来に向けて、地球環境・社会・経済・文化の調和に貢献」を掲げ、2028年度に連結売上高180億円以上、連結売上高営業利益率8.9%以上を実現するため、

・データドリブン経営の推進
・ＤＸ（組織風土改革）とＦＡ（働き方改革）の加速
・志ある自律人財の育成
・ライフサイクル型事業の加速
・サステナブル製品・事業の探索

の重点課題に取り組んでまいりました。

当中間連結会計期間の売上高は62億9千2百万円(前年同期比0.5%減)、営業利益は4億5千8百万円(前年同期比38.7%増)、経常利益は6億4百万円(前年同期比29.1%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は5億7千1百万円(前年同期比85.1%増)となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

・機器装置事業

機器装置事業につきましては、旺盛な建設需要を背景に空調製品は堅調に推移したものの、熱源製品の出荷が上期は少なく、また、サーモデバイス機器につきましても、海外市場において、液晶パネル製造装置の国産化が推し進められたことなどにより、前年同期比で減収となりました。

その結果、当事業の売上高は30億6千8百万円(前年同期比11.5%減)、営業利益は2億1百万円(前年同期比0.4%減)となりました。

・素形材加工事業

素形材加工事業につきましては、景観製品について前期からの繰越工事が多かったことに加え、鋳造品もガスタービン関連部品の売上が好調に推移したことにより、前年同期比で増収となりました。

その結果、当事業の売上高は11億4千2百万円(前年同期比36.5%増)、営業利益は9千5百万円(前年同期は営業損失3千9百万円)となりました。

・サービスエンジニアリング事業

サービスエンジニアリング事業につきましては、既設機器の取替工事が好調に推移し、前年同期比で増収となりました。一方、利益につきましては、利益率の低い大口案件があったことにより、前年同期比で減益となりました。

その結果、当事業の売上高は20億8千1百万円(前年同期比3.1%増)、営業利益は1億6千1百万円(前年同期比3.9%減)となりました。

（２）財政状態に関する説明

資産・負債・純資産の状況

当中間連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ13億9千5百万円増加し、237億7千8百万円となりました。主な要因は、受取手形、売掛金及び契約資産が6億4千6百万円、電子記録債権が13億3千万円減少したものの、現金及び預金が10億3千9百万円、商品及び製品が3億1千4百万円、仕掛品が1億6千9百万円、投資有価証券が13億2千万円増加したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ3千7百万円減少し、101億5千1百万円となりました。主な要因は、繰延税金負債が4億9千万円増加したものの、電子記録債務が2億5千4百万円、未払法人税等が2億円が減少したことによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ14億3千2百万円増加し、136億2千7百万円となりました。主な要因は、利益剰余金が4億4千7百万円、その他有価証券評価差額金が9億3千5百万円増加したことによるものであります。

キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ9億3千9百万円増加し36億3千5百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における営業活動の結果獲得した資金は12億5千7百万円(前年同期は4億7千5百万円の獲得)となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益8億5千7百万円、売上債権の減少額19億7千7百万円による増加と棚卸資産の増加額4億8千4百万円による減少であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における投資活動の結果支出した資金は1億4千3百万円(前年同期は4億2千8百万円の支出)となりました。これは主に、投資有価証券の売却による収入2億8千5百万円による増加と有形及び無形固定資産の取得による支出3億2千1百万円、定期預金の預入による支出1億円による減少であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間における財務活動の結果支出した資金は1億7千4百万円(前年同期は1億6千7百万円の支出)となりました。これは主に、配当金の支払額1億2千3百万円による減少であります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年３月期通期の連結業績予想につきましては、2026年５月13日に公表いたしました連結業績予想から変更しております。詳細につきましては、本日(2026年11月13日)公表しました「2027年3月期　通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報や予測等に基づき算定したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,695	3,735
受取手形、売掛金及び契約資産	2,722	2,076
電子記録債権	2,445	1,115
商品及び製品	339	654
仕掛品	1,156	1,326
原材料	625	626
その他	34	81
貸倒引当金	△4	△2
流動資産合計	10,015	9,611
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,584	1,584
その他（純額）	2,405	2,848
有形固定資産合計	3,989	4,432
無形固定資産	117	139
投資その他の資産		
投資有価証券	7,739	9,059
その他	533	547
貸倒引当金	△12	△12
投資その他の資産合計	8,260	9,594
固定資産合計	12,367	14,166
資産合計	22,383	23,778
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	853	828
電子記録債務	822	567
短期借入金	3,075	3,050
未払法人税等	369	168
その他	1,753	1,767
流動負債合計	6,872	6,382
固定負債		
長期借入金	100	100
退職給付に係る負債	1,086	1,073
繰延税金負債	1,739	2,229
その他	390	365
固定負債合計	3,316	3,768
負債合計	10,188	10,151

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,641	1,641
資本剰余金	1,226	1,226
利益剰余金	4,567	5,015
自己株式	△132	△133
株主資本合計	7,302	7,749
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,472	5,408
退職給付に係る調整累計額	419	469
その他の包括利益累計額合計	4,892	5,877
純資産合計	12,195	13,627
負債純資産合計	22,383	23,778

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
売上高	6,321	6,292
売上原価	4,594	4,423
売上総利益	1,726	1,868
販売費及び一般管理費	1,396	1,410
営業利益	330	458
営業外収益		
受取利息及び配当金	149	164
その他	18	19
営業外収益合計	167	184
営業外費用		
支払利息	24	30
為替差損	－	3
その他	5	5
営業外費用合計	30	38
経常利益	468	604
特別利益		
投資有価証券売却益	－	253
特別利益合計	－	253
税金等調整前中間純利益	468	857
法人税、住民税及び事業税	106	130
法人税等調整額	52	155
法人税等合計	159	286
中間純利益	308	571
親会社株主に帰属する中間純利益	308	571

中間連結包括利益計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
中間純利益	308	571
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	859	935
退職給付に係る調整額	3	49
その他の包括利益合計	862	985
中間包括利益	1,171	1,556
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	1,171	1,556
非支配株主に係る中間包括利益	－	－

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2025年４月１日 至 2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自 2026年４月１日 至 2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	468	857
減価償却費	165	187
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△1	△1
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	△4	△57
受取利息及び受取配当金	△149	△164
支払利息	24	30
投資有価証券売却損益（△は益）	－	△253
売上債権の増減額（△は増加）	1,161	1,977
棚卸資産の増減額（△は増加）	△693	△484
仕入債務の増減額（△は減少）	△211	△278
その他の資産・負債の増減額	△217	△359
その他	0	0
小計	540	1,452
利息及び配当金の受取額	149	164
利息の支払額	△23	△30
法人税等の支払額	△190	△329
営業活動によるキャッシュ・フロー	475	1,257
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	－	△100
投資有価証券の売却による収入	－	285
有形及び無形固定資産の取得による支出	△426	△321
その他	△1	△8
投資活動によるキャッシュ・フロー	△428	△143
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	－	△25
長期借入金の返済による支出	△50	－
配当金の支払額	△98	△123
自己株式の取得による支出	△0	△1
リース債務の返済による支出	△18	△24
財務活動によるキャッシュ・フロー	△167	△174
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△120	939
現金及び現金同等物の期首残高	3,383	2,695
現金及び現金同等物の中間期末残高	3,263	3,635

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。